

廣瀬製紙(株)



身近な病気「がん」について 会社全体で取り組みを



代表取締役 岡田 祥司氏

大切な人材を守るため がん対策は必然の取り組みでした

日本は先進国の中で唯一、がん患者が増えていると言われてます。定年延長などで従業員のがん罹患率上昇の可能性を考えると、男性従業員が多い当社において、がん対策は取り組むべき課題でした。始めてからがんが発見された人はおらず喜ばしいことですが、気を抜かず、今後も積極的に取り組んでいきたいです。

取り組みの きっかけ

働き世代が多い当社にとって がんへの取り組みは自然な流れ

当社では10代から70代まで幅広い年齢層が従事しています。厚生労働省によると、がん患者の約3人に1人が働き世代(20~64歳)で、当社も該当します。社員が安心して長く働けるよう、がんについての理解を深め、予防や治療できる環境を作ることが健康経営につながっていくと思い、取り組みをスタートしました。

取り組みの 内容

がんを知り、がんになっても 働き続ける職場づくりなどを検討

厚生労働省の「がん対策推進企業アクション」に参加。同アクションの推進パートナーとして、がん検診の啓発、がんについて正しく知ること、がんになっても働き続けられる環境作りに取り組むようにしました。ガイドラインの作成と並行して、健康経営優良法人にも申請し、取り組み内容の発信も行っていました。

取り組みの 成果

がんへの知識や検診の大切を学び 従業員の意識の高まりを感じた

同アクションの議長で東京大学病院 特任教授の中川恵一先生によるオンライン講演を、県内製造業では初めて実施。講演後の受講者アンケートには「飲酒や喫煙をしなくてもがんになることもあると知った」や「がんは怖い病気だけど早期に発見できれば治療できることが分かった」などの回答があり、がんへの知識の深まりや検診の大切さが伝わったようです。啓発ポスターの掲示や冊子の配布なども一定の効果があったとも思います。これらの取り組みが評価され同アクションの2021年度「がん対策推進優良企業」として表彰されました。



【会社データ】

- 業務内容:製造業
 - 創業:1958(昭和33)年3月
 - 社員数:158人(2023年3月6日現在)
- TEL: 088-852-7774
FAX: 088-852-7784



公式WEBサイト

今後の目標

がん検診の受診率向上など 健康啓発や行動を行いたい

がん検診の受診率向上に向けた実践的な取り組みを行っていきたくと考えています。健康経営としては、健康診断の結果を受けての事後措置の徹底や事務所に設置した血圧計の活用、男性育休の取得推進などを検討中です。2022年に「こうちSDGs推進企業」に認定され、目標3の「すべての人に健康と福祉を」や目標8の「働きがいも経済成長も」は、健康経営とリンクするので、これからも頑張っていきたいですね。